

# 視聴覚教育

NO. 493

発行日

R6. 12. 5

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

## これ知ってる！？ [bps]

ネットの通信速度を表す単位で「bit per second」の略。1Mbpsなら、1秒間で約12万字を通信する。動画視聴なら20M、オンラインゲームなら100M程度あると快適。ネット検索で簡単に調べられる。

## 令和6年度 視聴覚機器の保有数調査より

現職研修委員会学習情報部 広報部会

令和6年8月に、各学校の視聴覚機器について保有数を調査した。令和2年度からMicrosoftのアプリ「Forms」が利用できるようになり、市内の全小中学校、67校の保有数を効率よく確認することができています。

岡崎市の小中学校では、電子黒板の拡充が進んでいる。今年度は小学校2、3年生の全教室に配備され、残るは小学校1年生のみとなった。ICT環境が充実しつつある今、各校で機器の精選が進んでいるのではないかと調査結果から感じた。今回の調査結果において特徴的であった機材については、以下のとおりである。

### 1 ワイヤレスアンプ（CDまたはSDカード付）

小中学校ともに微増している。CDまたはSDカードを使用できない機種から、買い替えが進んでいると考えられる。屋内はもちろん、屋外でも利用が可能なため、これからも活躍の機会が多いと思われる。昨今は、USBメモリやBluetooth接続で音楽を利用できるものもある。学校にある機器や利用方法に応じて機能を選択するとよい。尚、音楽を利用する際は、著作権に気を付けたい。

### 2 Bluetooth接続型スピーカー

中学校の多くで保有され、昨年度は1校に約5台であったのが、今年度約6台となった。配備が進んでいる。また、小学校でも保有数が増えている。保有数の傾向から、普通教室だけでなく、特別教室にも配備されているようである。ワイヤレスアンプよりも小型で、設定や接続も容易であるため、活躍する場面が多いのではないだろうか。利用の状況を聞き取ったところ、小中学校とも、タブレット端末を接続し、運動会や合唱などの練習に利用している。また、出力が20Wあると、使い勝手がよいようだ。

### 3 プログラミング教材

小学校で3校、中学校で1校が新たに配備しており、昨年度と同様プログラミング学習を意欲的に行う学校が増えていることが伺える。今後の配備を考えている学校もあり、関心の高い教材である。活動を充実させるためには複数台の購入を検討したい。

### 4 新しい項目

子供が動画を撮る際に使い始めているのではないかと考え、Bluetooth接続型マイクとタブレット用後付けカメラレンズについて調査した。どちらも、一部の学校のみ配備しているが、配備した学校には複数個ある。今後、保有数が増えると考えられる。

## II 視聴覚教育あれこれ II

### ● iPadのアプリで使えるおすすめ機能

一人1台のiPadが日々の授業や学校生活で活用されている。iPadに導入されているアプリで少し便利なおすすめ機能を紹介する。

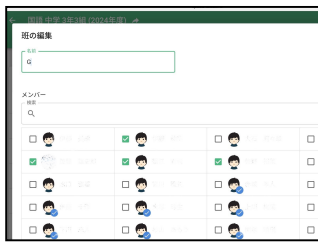
### ● Goodnotes「消しゴム」自動選択解除の設定

校務や授業で日常的に使用されているGoodnotes。手書きのノートのように使えるところが利点である。ただ、ペンと消しゴムの機能を切り替えることに煩わしさを感じる人もいるようだ。そんなときは、消しゴムのアイコンから、自動選択解除にチェックを入れることをおすすめする。消しゴム機能を使用した後、ペンを離すと直前に利用していた機能に自動で戻るようになる。



### ● スクールタクト「グループ課題」

スクールタクトを使った授業が日常化して久しい。そのスクールタクトに「グループ課題」という機能が追加されている。画面上の指示に従って子供をグループに割り振ると、グループごとにシートが作成され、複数人の子供が同時に編集することができるようになる機能だ。グループでの学習で重宝する。ただ、課題を作成するたびに、グループを設定するのは手間である。事前に「担当授業」から「班設定」をしておく、時間が短縮できる。



II 実践報告 II

社会科「中部地方について調べよう」

城北中学校 加藤 光一郎

2年生の社会科の授業で、中部地方について取り上げた。タブレット端末で動画資料を活用することで、自ら進んで情報を集めて中部地方の産業を想起し、学びを深める生徒の育成を目指した。

まず、中部地方のイメージをスクールタクトに記入し、ワードクラウド機能で可視化した。すると、スポーツチームやゆるキャラの名前が大きく表示された。イメージが偏っており、産業について想起できていないことが一目で分かった。

次に、北陸や中央高地、東海の農業、そして、その他の産業についての動画が見られるQRコードを提示し、生徒が各自で視聴できるようにした。すると生徒は「長野のりんご美味しいよね」「福井の蟹は食べたことある」「福井のめがね知っている」とつぶやき、中部地方の農業や漁業、工業を想起することができた。さらに、興味をもって意欲的に調べる学習を進める姿につながった。

最後に、学級全体で中部地方の産業の特徴について話し合いを行い、学習を振り返った。生徒の記述には「中部地方では各地の気候に合わせた、さまざまな地場産業が行われている」とあり、生徒が自らの興味から学びを深めた様子が見られた。

後日、授業を欠席した生徒がワークシートのQRコードを読み取って、動画を視聴している姿があった。想起を促したり意欲を高めたり、学びを保証したりと、ICTの可能性を感じた。



II レッツ・トライ！情報モラル II

インターネットの利用にルールって必要？

矢作東小学校 鈴木 広樹

本校では、山の学習の説明会に合わせて、情報モラル講習会を開いている。その際、子供がインターネットをどれくらい利用しているか調査した。6年生になり、利用状況を再度調査したところ、長時間利用する児童が増えていることが分かった。そこで、インターネットを利用する際、ルールは必要か考える授業を行った。

まず、ルールが必要かどうか、子供は理由と共に意見を表明した。不必要と考えた子供は少数だが、「ルールがあるとイライラする」と理由を述べた。それに対し必要と考えた子供は大多数で、「依存症が心配」「体調がおかしくなる」「トラブルに巻き込まれたら取り返しがつかなくなる」など、必要と考える子供からは多様な理由が述べられた。ある子供は「医者からこれ以上ゲームをやると視力がもつと悪くなるよと言われ、ルールを決めた」と実体験を語り、「ルールを決めてよかった」と述べた。

最後に、もう一度ルールが必要かどうか考えた。初めに「イライラする」と述べた子供は、「ルールは少し必要かも」と少し考えを改めた。また「今日改めてルールが必要だと思いましたが」と、ルールの大切さを述べる子供が多かった。自身の健康を守る大切さに言及する子供もおり、ルールを設定してインターネットを利用することが大切であると学ぶことができた。

今日の学びの振り返り	理由
守らないほうが楽しいでも、少しずつ必要だと思った	ルールをつけたら余計ストレス溜まるからだるい

ライブファミリーだより

● 研究発表会映像の提供について

視聴覚ライブファミリーでは岡崎市教育委員会主催の一部の教育行事について撮影を行っています。

うち岡崎市教育委員会研究委嘱発表会については全てで撮影を行い、全体会から最後の講評まで収録、編集した動画を実施校に提供しています。

他校でもご希望があれば提供しますので、その場合は視聴覚ライブファミリーまでご相談ください（個人情報保護の関係から映像を外部に出すことがないようお気を付けください）。

◇ 令和6年度

- 岡崎市教育委員会研究委嘱発表会記録
- 六ツ美北中学校
- 根石小学校
- 美合小学校

● DVD・BDコピー専用機

（デュプリケーター）の御利用について

DVD・BDを一度に7〜10枚までコピー可能なデュプリケーター（全3台）を視聴覚ライブファミリーは保有しています。

パソコンでのコピーより操作が簡単で、より短時間で多くの枚数を複製できます。

各種行事や授業で動画を活用する機会は多々あると思います。配付や保存用で複数枚のDVDを必要とする時に御活用ください（著作権については十分ご注意ください）。

連絡先 電話 23・6789

